

令和3年（ネ）第194号 損害賠償請求控訴事件

控訴人 控訴人1 外5名

被控訴人 国

証拠説明書（甲A号証）

－控訴審第12準備書面に対応する証拠について－

2023年（令和5年）2月21日

札幌高等裁判所第3民事部3係 御中

控訴人ら訴訟代理人 弁護士 加 藤 丈 晴

同 弁護士 綱 森 史 泰

同 弁護士 須 田 布 美 子

同 弁護士 皆 川 洋 美

同 弁護士 上 田 文 雄

同 弁護士 林 拓 哉

同 弁護士 高 橋 友 佑

同 弁護士 本 橋 優 子

| 号証 | 標目 | 原本 写し の別 | 作成 年月日 | 作成者 | 立証趣旨 |
|-----------|--|----------------|------------------------------|-------------|--|
| 甲A 518 | NHKウェブサイト 「岸田首相 夫婦別姓 や同性婚『改正で家族 観 価値観 社会が変わ ってしまう』」と題 する記事を印刷した 文書 | 写し | 2023 年2月1 日（記事 掲載日） | NHK | 2023年2月1日、岸田 文雄内閣総理大臣が、衆議院 予算委員会において、同性間 の婚姻に関し、「制度を改正す ると、家族観や価値観、社会が 変わってしまう課題だ」など と答弁したこと。 |
| 甲A 519 | 北海道新聞ウェブサ イト「荒井・首相秘書 官、LGBTや同性婚 巡り差別発言 『見る のも嫌だ』」と題する 記事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月2 日（記事 掲載日） | 北海道新 聞社 | 2023年2月3日、荒井 勝喜首相秘書官（当時）が、内 閣総理大臣の答弁に関して質 問された際に、「（同性婚制度 の導入について）社会が変わ る。社会に与える影響が大き い。」、「マイナスだ。秘書官 もみんな反対する。」、「隣 に住んでいるのもちょっと嫌 だ。」、「同性婚を認めたら国 を捨てる人が出てくる」など と発言したこと。 |
| 甲A 520 | 毎日新聞ウェブサイ ト「更迭の荒井首相秘 書官「同性婚、社会変 わる」 発言要旨と詳 報」と題する記事を印 刷した文書 | 写し | 2023 年2月4 日（記事 掲載日） | 毎日新聞 社 | 同上。 同日、荒井氏が、上記の発言 が差別的な発言であったこと を認めて謝罪し、発言を撤回 する旨を述べたが、同性間の 婚姻の導入が社会に与える影 響については、「反対の方もそ れなりにいるというのは事実 だとは思いますが。反対の方が 多いのではないかという意味 で、マイナスと言いました」な どと釈明したこと。 |
| 甲A 521 | 日本経済新聞ウェブ サイト「荒井秘書官を 更迭意向 岸田文雄 首相の発言全文」と題 する記事を印刷した 文書 | 写し | 2023 年2月4 日（記事 掲載日） | 日本経済 新聞社 | 2023年2月4日、内閣 総理大臣が、荒井氏の発言は 政権の方針とは相いれないも ので言語道断なもので、荒井 氏の進退についても考えざる を得ない発言であると述べた こと。 |
| 甲A 522 | 日本経済新聞ウェブ サイト「荒井勝喜首相 秘書官を更迭 岸田 文雄首相の発言」と題 する記事を印刷した 文書 | 写し | 2023 年2月4 日（記事 掲載日） | 日本経済 新聞社 | 2023年2月4日、内閣 総理大臣が、荒井氏の更迭（辞 任）を表明し、「多様性を尊重 し包摂的な社会を実現してい く今の内閣の考え方には全く そぐわない言語道断の発言 だ。性的指向だとか性自認を 理由とする不当な差別、偏見 はあってはならない」などと 述べたこと。 |

| 号証 | 標目 | 原本 写し の別 | 作成 年月日 | 作成者 | 立証趣旨 |
|-----------|--|----------------|------------------------------|-------------|--|
| 甲A 523 | 日本経済新聞ウェブサイト「岸田首相、同性婚巡りおわび『国民に誤解生じ遺憾』」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月6 日（記事 掲載日） | 日本経済 新聞社 | 2023年2月6日、内閣総理大臣が、政府・与党連絡会議において、荒井氏の発言に関し、「政府の方針について国民に誤解を生じさせたことは遺憾だ。不快な思いをさせてしまった方々におわびを申し上げる」、「多様性を尊重し包摂的な社会を実現していくという政府の方針について丁寧に説明していく」などと述べたこと。 |
| 甲A 524 | 毎日新聞ウェブサイト「松野官房長官『言語道断で遺憾』 荒井首相秘書官の差別発言で陳謝」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月6 日（記事 掲載日） | 毎日新聞 社 | 2023年2月6日、松野博一官房長官が、衆議院予算委員会において、荒井氏の発言に関し、「国民に誤解を生じさせたことは遺憾であり、おわび申し上げます」、「不当な差別と受け止められても仕方がないものであり、政府の方針と全く相いれず、言語道断で遺憾だ」と答弁したこと。 |
| 甲A 525 | 静岡新聞ウェブサイト「首相、秘書官差別発言を謝罪『社会変わる』原案になし」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月6 日（記事 掲載日） | 静岡新聞 社 | 2023年2月6日、法務省の金子修民事局長が、同月1日の予算委員会での内閣総理大臣の答弁に関し、答弁の原案は法務省が作成したものであるが、問題とされている当該発言については、質疑者とのやり取りの中での発言であり、質問の準備としてはそこまで及んでいなかったと答弁したこと。 |
| 甲A 526 | 北海道新聞ウェブサイト「同性婚『社会が変わる』 首相、発言撤回せず 衆院予算委」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月8 日（記事 掲載日） | 北海道新 聞社 | 2023年2月8日、内閣総理大臣が、衆議院予算委員会において、同月1日の予算委員会での自身の発言について、「国民生活の基本や家族観とも密接に関わるため、社会が変わると言った。議論を否定したつもりはない」と釈明し、「ネガティブ（否定的）なことを言っているのではない」として発言を撤回しないとし、LGBT理解増進法案について「首相は前に進める覚悟があるのか」との質問に対し、「自民などの議論を見守る」と答弁したこと。 |

| 号証 | 標目 | 原本 写し の別 | 作成 年月日 | 作成者 | 立証趣旨 |
|-----------|---|----------------|-------------------------------------|-------------|---|
| 甲A 527 | 朝日新聞ウェブサイト「(社説) 側近の差別発言 「包摂社会」は口だけか」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月5 日(記事 掲載日) | 朝日新聞 社 | 荒井勝喜元首相秘書官の発言及び内閣総理大臣の答弁に関する各新聞社の社説の内容。各新聞社がこれらの発言及び答弁を非難する意見を表明する社説を公表したこと。 |
| 甲A 528 | 毎日新聞ウェブサイト「社説：LGBTQ差別と首相 深刻さ理解しているのか」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月9 日(記事 掲載日)) | 毎日新聞 社 | 同上 |
| 甲A 529 | 日本経済新聞ウェブサイト「[社説] 政権の信頼揺るがす差別発言」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月6 日(記事 掲載日) | 日本経済 新聞社 | 同上 |
| 甲A 530 | 北海道新聞ウェブサイト「『人権感覚おそろしい』『世論から逸脱』荒井秘書官発言に道内当事者は」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月4 日(記事 掲載日) | 北海道新 聞社 | 荒井勝喜元首相秘書官の発言及び内閣総理大臣の答弁に対し、セクシュアル・マイノリティの当事者団体からも非難する意見が表明されたこと。 |
| 甲A 531 | NHKウェブサイト「NHK世論調査 内閣支持率」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月1 3日(記 事 掲 載 日) | NHK | NHKが2023年2月10日からの3日間で実施した世論調査の結果。同性間の婚姻を法律で認めることについて「賛成」の回答が54パーセントを占め、「反対」の回答(29パーセント)を上回ったことなど。 |

| 号証 | 標目 | 原本 写し の別 | 作成 年月日 | 作成者 | 立証趣旨 |
|-----------|--|----------------|-----------------------------------|-------------|--|
| 甲A 532 | 2023年2月14 日付け熊本日日新聞 (抜粋) | 写し | 2023 年2月1 4日 | 熊本日日 新聞社 | 共同通信社が2023年2 月11日から13日までに実 施した世論調査の結果。 荒井勝喜元首相秘書官の発 言について「適切ではない」と する回答が88.4パーセン トを占め、同月1日の内閣総 理大臣の答弁についても「適 切ではない」とする回答が5 7.7パーセントを占めたこ と。 同性間の婚姻については、 「認める方がよい」とする回 答が64パーセントを占め、 「認めない方がよい」とする 回答(24.9パーセント)を 上回ったこと。 LGBT理解増進法案につ いても「必要だ」とする回答が 64.3パーセントを占め、 「必要ではない」とする回答 (24.1パーセント)を上回 ったこと。 |
| 甲A 533 | 読売新聞ウェブサイ ト「2023年2月 電話全国世論調査 質問と回答」と題する 記事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月2 0日(記 事掲載 日) | 読売新聞 社 | 読売新聞社が同月17日か ら19日までに実施した世論 調査の結果。 男性同士、女性同士が結婚 する「同性婚」を法的に認める ことについて、「賛成」が66 パーセントで、反対の24パ ーセントを上回ったこと。 |
| 甲A 534 | 毎日新聞ウェブサイ ト「同性婚法制化『賛 成』54% 内閣支持 率、横ばい26% 毎 日新聞世論調査」と題 する記事を印刷した 文書 | 写し | 2023 年2月2 0日(記 事掲載 日) | 毎日新聞 社 | 毎日新聞社が同月18及び 19日に実施した世論調査の 結果。 同性婚を法的に認めること について、「賛成」が54パー セントで、「反対」の26パー セントを上回った。「賛成」は 若い世代ほど多く、18~2 9歳では約8割、30代と4 0代では約7割、50代でも 6割近くを占めたこと。 |
| 甲A 535 | 毎日新聞ウェブサイ ト「毎日新聞世論調査 質問と回答」と題する 記事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月2 0日(記 事掲載 日) | 毎日新聞 社 | 同上 |

| 号証 | 標目 | 原本 写し の別 | 作成 年月日 | 作成者 | 立証趣旨 |
|-----------|---|----------------|-----------------------------------|----------------------|--|
| 甲A 536 | FNNウェブサイト 「内閣支持率40%台 に回復 屋内マスク 個人判断の3月以降も 『これまで通り着用』 73.3% 同性婚 『賛成』71% FN N世論調査【2023 年2月】」と題する記 事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月2 0日(記 事掲載 日) | 株式会社 フジテレ ビジョン | FNN（フジニュースネ ットワーク）と産経新聞が合同 で同月18日及び19日に実 施した世論調査の結果。 「LGBT、性的少数者 に対する理解を増進する法案 を、国会で成立させるべきだ と思うか、成立させなくても よいと思うか」という問いに 対して、64.1パーセントが 「成立させるべき」と回答し、 「成立させなくてもよい」と する回答の26.5パーセン トを上回った。また、「男性ど うし、女性どうしの結婚、同性 婚を法律で認めることに賛成 か、反対か」という問いに對 しては、「賛成」が71パーセン トで、「反対」の19.6パー セントを上回ったこと。 |
| 甲A 537 | 朝日新聞ウェブサイト 「同性婚、法律で『認 めるべき』72% 前 回から増加 朝 日世論調査」と題する 記事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月2 0日(記 事掲載 日) | 朝日新聞 社 | 朝日新聞社が、同月18日 及び19日に実施した世論調 査の結果。 同性婚を法律で認めるべき かとの問いに対して、72パ ーセントが「認めるべきだ」と 回答し、「認めるべきではない」 とする回答の18パーセン トを上回った。LGBTなど 性的少数者に対する差別を 禁止する法律については、「つ くるべきだ」とする回答が5 1パーセント、「つくる必要は ない」が39パーセントであ ったこと。 |
| 甲A 538 | 毎日新聞ウェブサイト 「『種の保存に背く』 と差別発言も 自民 反発でLGBT法案 頓挫の過去」と題する 記事を印刷した文書 | 写し | 2023 年2月7 日(記事 掲載日) | 毎日新聞 社 | 2021年5月にLGBT 理解増進法案を審議した自由 民主党の会合において、築和 生衆議院議員（現・文部科学副 大臣）が、セクシュアル・マイ ノリティについて「生物学上、 種の保存に背く」という趣旨 の発言をしたことが報じられ たことなど。 |
| 甲A 539 | 産経新聞ウェブサイト 「自民が理解増進法 案議論再開へ 差別 禁止には反対根強く」 と題する記事を印刷 した文書 | 写し | 2023 年2月7 日(記事 掲載日) | 産経新聞 社 | 2023年2月7日、自由 民主党において、LGBT理 解増進法案に関し、党の政務 調査会で議論を進める方針が 確認されたことなど。 |

| 号証 | 標目 | 原本 写し の別 | 作成 年月日 | 作成者 | 立証趣旨 |
|-----------|---|----------------|-------------------|-------|---|
| 甲A 540 | 毎日新聞ウェブサイト「LGBT法 茂木氏『早く提出望ましい』 具体的日程は言及避け」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2023年2月13日(記事掲載日) | 毎日新聞社 | 2023年2月13日、自由民主党の茂木敏充幹事長が、LGBT理解増進法案について、「なるべく早く法案を提出することが望ましい」とする一方、具体的な日程に関しては、「議員立法という性格も踏まえ、国会日程や与野党の調整状況を見極めて判断したい」と述べたこと。 |
| 甲A 541 | 朝日新聞ウェブサイト「LGBT理解増進法案、議員立法の動き 尊重し見守る＝官房長官」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2023年2月13日(記事掲載日) | 朝日新聞社 | 2023年2月13日、松野博一官房長官が、LGBT理解増進法案に関する政府の対応に関し、各党による議員立法の動きを尊重しつつ見守っていきたいと述べたこと。 |
| 甲A 542 | 産経新聞ウェブサイト「自民・西田氏『差別禁止は分断生む』LGBT法案」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2023年2月7日(記事掲載日) | 産経新聞社 | LGBT理解増進法案の提出の動きに対し、自由民主党の西田昌司政務調査会長代理が、超党派議連がまとめた法案をベースに議論を進めることに対して反対の姿勢を示したこと。 |
| 甲A 543 | NHKウェブサイト「多様性尊重は本当？ 試される岸田首相 LGBT法案・同性婚の行方は」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2023年2月10日(記事掲載日) | NHK | 同上。 自由民主党内においては、同法案中の「差別は許されない」という文言に抵抗感を感じている議員が少なくなく、「事実上の禁止規定となり、行き過ぎた運動や訴訟、社会の混乱につながる」、「自分は女性だと主張する男性が、女湯に入ることを要求した場合でも拒絶することが『禁止』されるようなケースが生じかねない」などの声も上がっており、「差別」という文言自体を法案中からなくするように主張する声もあると報じられていること。 |
| 甲A 544 | 時事通信ウェブサイト「自民県議『同性婚気持ち悪い』 SNSに投稿、謝罪—愛知」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2022年10月4日(記事掲載日) | 時事通信社 | 2022年9月27日、渡辺昇愛知県議会議員(当時自由民主党会所属)が、フェイスブック上において、「キューバはキューバです。同性結婚なんて気持ち悪いことは大反対!」とするコメントを投稿し、その後、コメントを削除し、謝罪したことなど。 |

| 号証 | 標目 | 原本 写し の別 | 作成 年月日 | 作成者 | 立証趣旨 |
|-----------|---|----------------|-----------------------------------|------------|---|
| 甲A 545 | 産経新聞「再び『同性 婚気持ち悪い』 愛知 県議がSNSに投稿」 と題する記事を印刷 した文書 | 写し | 2023 年1月2 6日(記 事掲載 日) | 産経新聞 社 | 2023年1月24日、渡 辺氏が、「まともな人が思うこ とをありのままに投稿しただ け」、「同性婚が気持ち悪いと 言って何がいけないんです か」などと再度投稿したこと。 |
| 甲A 546 | 毎日新聞「『異常な性 癖』発言の浜松市議が 謝罪 性的少数者ら が公開質問状」と題す る記事を印刷した文 書 | 写し | 2023 年2月9 日(記事 掲載日) | 毎日新聞 社 | 2023年2月2日、柳川 樹一郎浜松市議会議員(自由 民主党所属)が、同市議会市民 文教委員会において、市立中 学教諭の男が男性宅への住居 侵入容疑で逮捕された事件を 受けて、「こういうふうな事件 を起こす教員をどうやって見 抜くか。このような人は異常 な性癖だ。(男性のアパートに 侵入しているが) 普通感覚 で言うと女性のアパート」と 発言し、セクシュアル・マイ ノリティの当事者及び支援者の 団体から差別発言であるとの 非難を受けたこと。 |
| 甲A 547 | 神道政治連盟ウェブ サイトのトップペー ジを印刷した文書 | 写し | 2023 年2月1 3日(閲 覧印刷 日) | 神道政治 連盟 | 岸田文雄内閣総理大臣を含 む自由民主党の国会議員の多 数(衆議院議員185名、参議 院議員75名)が神道政治連 盟国会議員懇談会の会員とな っていること。 |
| 甲A 548 | 神道政治連盟機関紙 「神政連レポート意」 214号(抜粋) | 写し | 2021 年7月1 日(発行 日) | 神道政治 連盟 | 神道政治連盟国会議員懇談 会が発行する機関誌におい て、LGBT理解増進法案に ついて、「本連盟では引き続 き、慎重派議員の主張を支援 しつつ、国会での議論の動向 を注視して参ります。」など とする説明がなされているこ と。 |

| 号証 | 標目 | 原本 写し の別 | 作成 年月日 | 作成者 | 立証趣旨 |
|-----------|--|----------------|------------------|------------|---|
| 甲A 549 | 朝日新聞ウェブサイト「『同性愛は精神の障害か依存症』 自民会合で配布の文書に差別的な内容」と題する記事を印刷した文書 | 写し | 2022年7月1日（記事掲載日） | 朝日新聞社 | 2022年6月13日に開催され自由民主党の衆参議員が参加した神道政治連盟国会議員懇談会の会合において、「同性愛は心の中の問題であり、先天的なものではなく後天的な精神の障害、または依存症です」、「個人の強い意志によって依存症から抜け出すことは可能なので、同性愛からの回復治療の効果が期待できるのです」、「性的少数者の性的ライフスタイルが正当化されるべきでないのは、家庭と社会を崩壊させる社会問題となるからです」などとする講演の内容等をまとめた冊子が配布されたことが報道されていること。 |
| 甲A 550 | 「夫婦別姓 同性婚 パートナーシップ LGBT-家族と社会に関わる諸問題-」と題する冊子（抜粋） | 写し | 2022年6月頃 | 神道政治連盟・楊尚眞 | 2022年6月13日に開催され自由民主党の衆参議員が参加した神道政治連盟国会議員懇談会の会合において配布された冊子の内容。 |

以上